

6号の内容

特集 意識していますか？
家庭の中の男女差別
料理を磨く男たち
男の料理倶楽部MCCを訪ねて
知っておこうこの法律 女性の年金
女性センター検討小委員会中間報告

6号を読んだ感想

「家庭の中の男女差別」の座談会はとてもよかったです。女の人にも男の人にもまだ男女差別の意識は根強く残っていると思います。女の人が強くなったとか、男女平等になったとかという言葉も耳にすることはありますが、そういう言葉によって、現実の男女差別に目を向けられなくなってしまうのはとても怖いことだと思います。(40代女)

「男女平等への道への逆風」についても正確な情報が知りたい。(40代女)

実例や、体験談が掲載されていて、よく理解できて、考えさせられました。(50代女)

よくできていますが、読まれているのかしら。(40代女)

特集の出席者の選出が甘い。一般の人を選んでください。(80代女)

男女差別について生ぬるい感じがしないでもありませんが、こういう公開の席で明るく話しあえて、とてもよいことですね。昔は少しでもそういう考えを出すと、男性がどなりついたりしたものです。(70代女)

私自身の子育てで、男の子なのだから、女の子なのだからが無意識の中でありました。今の人たちを見ると変ってきたのを感じ

じます。(70代女)

『料理を磨く男たち』の、記事の中で最後の家庭の中の小さな実践が、社会制度の変化と結びついた時、初めて風の向きは、大きく変わるのではないのでしょうか というご意見に同感です。(70代女)

座談会は、わかりやすい言葉で、ジェンダー問題を提起している。また、このような市民の会を開き、掲載してほしい。(30代女)

「料理を磨く男たち」…やはり『オヤジの言い分』のいくつかに、非常に腹が立った。男つて、わかってないよな。あんなの気づいてない家事が(町内会、PTA、ゴミ捨て場の掃除)といっぱいあるのよと言いたい。(30代女)

エガール自体には特にないが、税金の使い道として有効かどうか疑問。片や保育料値上げの問題があり、こういう予算を少しでも児童福祉へまわせないかと思う。(30代女)

男性は社会において優遇されている様にも思われませんが、企業においては厳しい現実もあると思う。大塚さんの意見の中にあつた「役割というより、思いやりが一番大事」という言葉に共感します。(30代女)

我が家でも、家事負担は、圧倒的に妻の私の方が大きいです。妻側からと夫側からと各々意見が書いてありましたが、どうも認識のズレは否めない気がします。「夫婦は理解することはできないが協力することはできる」とは誰かの言でしたが、何とか協力体制を作るよう、日々頭をなやませているところです。(30代女)

実際に家庭でも仕事でも女性ががんばればがんばる程に、男性が甘えている社会になってきていると思っていて、子育てが一番重要だったと考えさせられました。女性はも

っと男性に甘える所は甘えるべきだと私自身も気づきました。(30代女)

どうかしなくては という意識をもっている男の人は多い。まだまだ、意識の低い男の人が多い。夫の両親にいたってはひどい！ 女は家！ 男は仕事で好きなこと！ という考えが当たり前!!おそろし。(30代女)

特集の企画はよいが、個別の発言が、きれいに過ぎる。(60代男)

年収130万円の配偶者控除の枠が、パート収入の限界の側面があります。控除枠の縮小と年金の負担については、成人は全員が原則負担とすべきと考えます。(50代男)

今回初めて「エガール」を読みましたが、改めて男女問題について考えさせられました。このような問題がもっと市民の間に広がればと思っています。(20代男)

本の中にでてきた内容は差別ではなく区別だと思えます。また、集まって話すようなことではなく家庭内で話すことだと思えます。今は昔ほど差別というのはないと思えますが、男性・女性ともその差別的差を利用している人が多く、そのような人たちがいる限り差別はなくならないと思います。(20代男)

女の門限に関する記事には若干疑問がありました。(70代男)

身近な市民の声を知ることができ、より関心を強めた。(70代男)

男女平等について
どのようにお考えですか

男の人も家事をするのが当たり前、自分も同じ様に働いているのだから家事は半分ずつ分担して欲しい、と願う女性があります。ただ、

男性に家事を「手伝う」のではなく責任をもつてやって欲しいと思うならば、女性も「働く」ことについて自分が家計を担うぐらゐの意識がなければ真の男女平等ではないと思います。まだまだ女性の「仕事」についての意識は家計の「補助」、生きがいというのが多いと思います。(40代女)

まだまだほど遠い現状だと思います。女性の人権、特に性的な部分での女性の人権をきちんと理解している人は少ないのではないかと。「中絶」「性教育」に対する考え方にあらわれているように。(40代女)

時代、世代の移り変わりで色々な考え方はあると思います。基本的には、全て平等な対等な立場が好ましいか、男性、女性がそれぞれ得意とする分野はそれぞれで力を発揮できればという考え方です。(力はやはり男性が強いし、細かい気くばりは女性が得意とするので…)などなど。(40代女)

長い歴史の中でしみついたものは、なかなか変えられない。子どもとき、親類のおじさんちに泊まったとき、おじさんが「女の子のあとになんか風呂に入るもんじゃない」と言ったひとことが、忘れられない。(50代女)

うちの中学生の息子たちは、女子の方が「平等」を武器にのびのび、勝手にやり放題だと言っています。朝日新聞の記事(平等の解釈は男女で違う?)を読み、夫や男性に仕事を押しつけていた自分に反省しています。

「女」をふりかざして…今の世の中、男の子の方が生きにくいようです。男子学生がこういう理不尽を感じていれば、心のそこから女性を守り、平等になどと考えず、社会に出て、本当の意味での男女平等など育つてこ